

一斉学習 教師説明型

さいたま市立浦和中学校  
高久正行

実践タイトル 電子黒板を用いて現在完了形の導入

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

・視覚的効果を用いて、生徒の意識を集中させ、興味関心を促すようにする。また、生徒に配布したワークシートを提示しながら解説を進める。

PC教材

・プレゼンテーションソフトウェアを用いて、現在完了形の文がどのような意味を表しているかを具体的なイメージを持たせ、明確に理解させる。

参考にしてほしいポイント

- ・新出の文法事項「現在完了形」を導入するために、新幹線の時刻表を活用し、プレゼンテーションソフトウェアで時間を示しながら、新幹線がどのような状況になっているかをイメージしやすいようにすることで、学習への興味を高める。
- ・現在完了形の意味・形・使い方を定着させる目的のワークシートを提示しながら説明を加えることで、生徒の理解度を深める。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 7	・あいさつ ・Warm-up (既習事項を用いた会話活動)	
展開 7 45	・修学旅行時の話題から新幹線について質問。 ・新幹線のぞみ209号の時刻表を提示。 ・今の時間が8:20、10:00、10:04、10:41の時、英文でどう表現するかを提示。 ・現在完了形(have(has)+過去分詞)の形とその意味を提示して、簡単に説明を加える。 ・現在完了形の定着を図るためのワークシートに取り組み、その確認を行う。 ・ワークシートの残りの問題に取り組む。	・自作PC教材(プレゼンテーションソフトウェア他) ・ワークシートの提示
まとめ 45 50	・再度、現在完了形の形や意味を提示し、本日の授業の内容を振り返る。 ・過去形と現在完了形を使った英文を1つずつ提示し、その意味の違いについて考えさせる。 ・あいさつ	・基本文型の提示 ・英文の提示

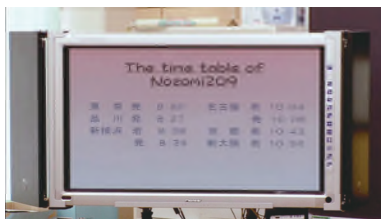


写真1: 新幹線の時刻表を提示し今の時間を英文でどう表現するか考えさせる



写真2: 現在完了形(have(has)+過去分詞)の形とその意味を提示する



写真3: 写真を提示し新幹線がどのような状況になっているか、現在完了形の表現をイメージさせる

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・映像の効果により、英文の内容をかなり理解できた生徒が多かった。
- ・電子黒板への書き込みを入れたことにより、集中力もかなり高まった。

活用効果

評価の観点	・コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ・外国語理解の能力	具体的変容	・電子黒板を活用することで、生徒の集中度が高まり、その分理解度が早まったように感じられた。
-------	-----------------------------------	-------	---

実践の手応え

- ・口頭で導入した現在完了形の文に対し、示した写真を見ることで、その内容について大きくうなずくなどの反応が見られた。また、授業後、写真のおかげで理解することができたという生徒もいた。